

# 芽高新聞

再刊299号  
 北海道芽室高等学校  
 新聞局  
 河西郡芽室町東めむろ  
 1条北1丁目6  
 発行責任者  
 上村 りの

## ボランティア部人気集中

### 進路活動に生かせることも理由か



新入部員(16名)と現部員(9名)で賑わうボランティア部

各部活動の今年度の加入状況から見えてきた傾向と現在活気づくボランティア部。そして現在新入部員ゼロとなっている山岳部、放送局取材した。



今回、新聞局が各部活動加入数を調査した結果、5月末現在で運動部169人、文化部234人。全校生徒約8割が部活動に加入している。そして現在、特に精力的に活動しているのがボランティア部だ。そのことについて、ボランティア部を代表し、植山若菜さん(2B)は、「1年生も結構部活に馴染んできて、皆仲良く活動している」と語った。そして「今後はもっと、ボランティアっぽいことを充実させたい」と意気込む。

また、入部した理由を宮川歩奈さん(1A)は「中学時代の先輩もいたし、進路活動に直結する部活だと思ったから」、阿部玲菜さん(1C)は、「入学体験の時、楽しかったし、この部活に入りたいと思ったから」と語ってくれた。

今回は  
 5年A組の  
 秋元慎乃介  
 を紹介します!

A組の秋元慎乃介です。5月21日生まれのおうし座、血液型はA型です。趣味は音楽鑑賞で特にJ-POPが好きです。部活は卓球部です。将来は料理人になりたいので、専門学校に行きたいです。今年の漢字は「希」。楽しい高校生活を望んでいるからです。楽しい高校生活を送りたいです。

## 新入部員求む！山岳・放送

### やりがい・魅力知って

新入部員を迎え、賑わいを見せる部活がある一方、残念なことに部員を迎えることができず活動が困難な部活もある。その中の一つが山岳部だ。そこで現状について、顧問である佐々木隆光先生に話を聞くと、「入ってみれば楽しいし、山岳部に向いている人がいるので」と心情を漏らした。

また、山の魅力について「四季折々の自然に触れられて、都市部にはない良さを体験できる」と語った。

最後に、1、2年生に向

けて「アウトドアが好き、な人、歩くのが苦手じゃなければ男子だけではなく女子も歓迎している」と語ってくれた。

(この取材後、山岳部に新入部員が3名入部。部活動が再開されることになった。)

放送局も新入部員に苦しむ。そこで、放送局局長の眞屋瑞稀さん(3B)に話を聞いた。

眞屋さんは「放送大会の作品制作や芽高祭の撮影、オープニングに流す映像の編集が大変だから、できれば新入局員が欲しい」と話した。

## 泊修 たくさん学んだ3日間

4月24、26日、1年生は国立日高青少年自然の家で泊修を行った。た講演を年70回以上実家で行った。今回の芽高生の印象情報の大切さやインタビューを「真面目」と語る。最新の危険性を学んだ。後に「進路選びはつまづきや失敗もあるけれど、また、進路適性講話では「自信をもって起き上がり、みどりさん(52)を迎え、頑張れ」と話してくれた。グループワークを挟んで、自分の将来像について考

あーりんの  
 なまのけ  
 他に力や影響をもたらす  
 どうかけて  
 「そのような」と丁寧に言う  
 そのまは...  
 芽室は  
 編集後記

「放送局はやりがいがあるし、頑張った分だけ結果が出る。それに、芽高祭で作った映像を皆が喜んでくれるのも嬉しい」と魅力を語ってくれた。

最後に、1、2年生に向けて「放送局が芽高から無くなるのは悲しい。今からでも全然遅くないから、ぜひ入って欲しいな」と語ってくれた。

(鈴木菜)

最近、教室の窓から蜂が入ることが多く、網戸が設置の音が高まっている。これについて遠藤巨事務局長は「業者と値段の確認」と話す。取りあえず「カーテンを閉める」が対処法とのこと。(相川)

研修となった。(五十嵐)

# 英語は道員

## 言葉を知れば世界が身近になる



様々な国を旅し、経験を積んだ東海林先生

5月7日から18日まで東海林由美先生が教育実習を行った。先生は明星大学通信教育過程に在学中だ。

東海林先生は1982年に芽室高校を卒業し、社会人となったが、そこから大学や語学学校等に通い、卒業。現在は東京で小学校の臨時職員などを行っているそうだ。

そんな東海林先生が英語を学ぶきっかけとなったのは、イスラエルの旅をし、世界を見たことから。イスラエ

ルの公用語を学び、もつと語学について深く学習したいと思ったそうだ。

英語の魅力は東海林先生は「多くの国の人々とコミュニケーションを取る事ができるし、何より世界が自分に近いと感じる」と語る。TOEFLを5回も受け、英検2級も合格。英検2級は1日15個の慣用句と10個の英単語を覚え、合格したそうだ。

ちなみに東海林先生

～東海林先生の卒業アルバムコメントより～  
 両の日も、風の日も、ただひたすらスト(ストライキ)になることを祈って、毎日帯広の片田舎からへこへこ汽車に乗って、芽高に通いました。  
 “バイク通学したかった!”

はクリスチャンで、神学院で学んできた。「聖書を読み、神に祈りを捧げることで辛い事や大変な事も乗り越えてきた」そうだ。さらにアメリカにも12年間住み、アメリカの人の生き方にカルチャーショックを受け、様々な人と出会い、たくさんの苦難を乗り越えてきた。「アメリカンの友人もたくさんできた」と東海林先生。

最後に「芽高生はとも立派。みんな仲良

これまでの人生を英語で表すと  
**I never forget those days how had to**  
**struggled from studying English.**  
 私は英語を苦勞して学んだ大変だったあれらの日々を決して忘れません。

くして居るし、役割もちゃんと守っている。人生ホントに何が起るか分からないよ！恥を忍んでこの学校に来てみんなに出会えて良かった！1年生のみんな！忍耐強く授業を聞いてくれて本当にありがとう！」と、メンセージをくれた。

(森)

先生からの  
**挑戦状**  
 今回は...  
 教育実習生の東海林先生から出題!!

If you do not get a correct answer, it is not problem at all.  
 (もしもこれが解けなくても何の問題もありませんよ。)

イラスト 東海林先生

Guess where my favorite city is!  
 (私が一番好きな街を当ててみて下さい!)

A, Manhattan (マンハッタン)  
 B, Jerusalem (エルサレム)  
 C, 芽室町

ヒント: その街は "Holy land" と呼ばれています

※ 答えは次回の「先生からの挑戦状」で!

### 生徒総会 無事終了

#### 教科書持ち帰り呼びかけ

5月16日、体育館にて、平成30年度前期生徒総会が行われた。第1号議案の、生徒執行部中間反省、第2号議案の会計、第3号議案の部・局監査についてそれぞれ承認された。第4号議案では、各専門委員会が年間活動計画を発表。学習委員会では「教科書は、持って帰らなければいけないのか」と質問し、「持つて帰って欲しい」との回答があった。

そして、第5号議案では、平成30年度会計予算について、第6号議案では合唱祭廃止に伴った文化委員会の廃止が承認された。なお、合唱祭以外の芸能関係については芸能実行委員会が従来どおり開設される。(根元)

訂正記事  
 298号で2年C組の廣瀬詩菜さんの字が間違っていました。大変申し訳ありませんでした。

ごらんも同じ  
 (作用・左様)です

### 編集後記

電気治療の効果を上げるには電気を感してすぐに電気を止めてもらうよりも、痛みを感じて止めてもらう方が効果抜群です。肩凝りは万病の元。肩凝り↓頭痛↓体調不良と全体に及びます。PCを多用する先生方、電気治療を勧めます。(高砂)

顧問	鶴身 幸一
局長	上村 りの (3A)
副局長	豊島 翔大 (3B)
編集長	藤田明日香 (3A)
	根元 七穂 (2A)
	森 仁美 (2A)
	相川 愛実 (2B)
	高砂 萌衣 (2B)
	鈴木 麻央 (2C)
	鈴木菜々美 (2D)
	五十嵐千歳 (1C)
	小川 結衣 (1C)
	石森由香利 (1C)